



のI♡銚子

～銚子の魅力を発信するちょ～

銚子の祭り文化を次世代へ!

第3回 まつ い かず ひこ 松井和彦さんの巻



銚子みなとまつりで指揮を執る松井さん

皆さんお待ちかねのこのコーナー。今回は銚子神輿連合会の松井和彦さんをご紹介します!

市内で包装梱包資材卸売販売業を営む松井さんは、昭和46年生まれの44歳。普段は子どもたちの空手指導などもしてるちょ。モットーは有言実行!

そんな松井さんはなんと、市内50の神輿団体を束ね、今年40周年を迎えた銚子神輿連合会の第3代会長を務めているんだちょ!「会長は大役ですが、今年の市内全ての祭事を無事に終えひと安心。仲間の協力もあり、苦も楽に変わりました。」と会にとって節目の一年間を振り返る松井さん。銚子をもっと元気になるには、歴史ある祭事や寺社の魅力をまちぐるみで発信することが必要と感じているそう。何しろ、銚子はよそと比べものにならないほど祭りが多い町。揉みや練のような神輿の担ぎ方は銚子なら

ではなんだって! 知らなかったちょ～

松井さんの目標は、会の50周年に向け、みなとまつりのような大きな祭りを作り上げ、やり遂げること。そのためにも、市民の皆さんにもっと地元の祭りを知ってほしい! という松井さん。

皆さんもぜひ来年は銚子の祭りに参加して、歴史と伝統を体感してみてくださいよ～!!

銚子みなとまつりの様子→
ものすごい熱気だちょ～!



協力/銚子商工会議所青年部

情緒あふれる街並みを
散策できるよ



外川漁港と外川のまち

計画的に作られた街路は、港を中心に基盤の目状に広がっています。町並みは、銚子石を使った石垣など、昔ながらの風情が残っています。



日本有数の水産業の街、銚子。銚子漁港の水揚げ量は、なんと四年連続で日本一!
銚子沖は「黒潮」と「親潮」が交わる豊かな漁場です。また、市内には加工、冷蔵施設も充実しています。産業も銚子ジオパークの大切な要素。今回は水産業に係る銚子のジオサイトを巡っていきましょう。

海と川に囲まれ、さまざまな産業を生んだ恵みの地

外川

外川は江戸時代に開かれた漁港です。銚子と同じく黒潮が流れる、紀伊の国(現・和歌山県)の「崎山次郎右衛門」が斜面に基盤目状の街並みと港を作りあげました。港はなんと大正11年の全面改築まで活用されていました。

千人塚・岩石公園

銚子漁港のある利根川の河口は、かつて「阿波の鳴門」、「伊良湖渡合」と並ぶ日本の海の三大難所といわれ、海難事故が多い所でした。千人塚(川口町)は海難犠牲者を供養する慰霊塔です。漁港は現在、陸地や岩礁を削って運河をつくり、安全に入港できる港になりました。実は海難事故の一因となっていた岩礁は、溶岩が冷えて固まった岩石。学術的にも大変貴重なこれらの岩石は、岩石公園(川口町)で見られます。

こんな銚子の水産業にまつわるジオストーリーを知ってから魚を食べるとさらに美味しく感じるかも?

銚子ジオパーク 問合せ
銚子ジオパーク推進協議会事務局 ☎(24)8911

